



週報Rotary



所沢西ロータリークラブ

R1 第2570地区第3グループ

会長 堀江 大
 幹事 石井 秀夫
 クラブ管理運営委員長
 副会長 山田 富男
 会長エレクト 鈴木 伴忠
 室伏 秀樹

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ・グラン TEL 04-2923-4122
 事務局 〒359-1148 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666
 例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151
 E-mail nishiro@dream.ocn.ne.jp http://www.tokorozawa-nishiro.net/

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1485 回例会 2017・7・18

ニココ本日 23,000 円 ♣ 累計 151,932 円

卓 話	例会当番	記念祝福
7/18 スタートアップパーティー 夜間例会 ベルヴィザ・グラン	上野 孝二	
7/25 例会取消		
8/1 クラブ協議会	内田 学	
8/8 所沢中央消防署様	内野 忍	

■出席報告	
月 日	7/11
会員数	29
出席者	26
出席率	89.7%
前回修正	93.1%

会長の時間 堀江 大



7月11日 今日は何の日 真珠記念日
 明治26年、伊勢志摩の鳥羽にて世界初の半円真珠養殖に成功。それまでは偶然の産物で乱獲で減少したアコヤ貝 明治38年真円真珠にも成功
 銀座4丁目にある本店ミキモトの創業者御木本幸吉さんが苦勞の未成功させました。

先週、防災行政無線放送の話をした翌日に九州にて災害がありました。
 避難指示に従っていれば被害者は減っていたのかな？

避難準備

勧告・指示の発令が予想されるため準備を呼びかける。
 高齢者等時間のかかる人は非難する

避難勧告

被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合。強制するものではない。

避難指示

状態が悪化し、人的被害の危険性が高まった場合。避難勧告より強制力が強い。

勧告・指示に従わなくても罰則規定なし。自己責任
 日頃から避難所の確認をしておきましょう。

幹事報告 石井 秀夫

◇「ロータリー
 米山記念奨
 学会 50年
 のあゆみ」
 発刊のお知
 らせ



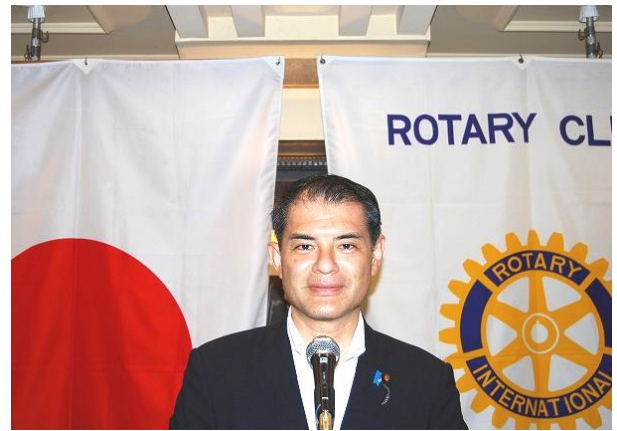
- ◇ ガバナー補佐公式訪問資料として ロータリークラブ・セントラル入力をお願い
- ◇ ロータリー財団に関する地区の現況報告
- ◇ [RIJO-FAQ] 2016年—17年度「年次基金寄付ゼロクラブ」ゼロ 達成のお知らせ
- ◇ 例会変更・・・入間 RC、飯能 RC、入間南 RC 狭山中央 RC、所沢中央 RC 所沢東 RC、新所沢 RC
- ◇ 週報・・・飯能 RC、入間南 RC、新所沢 RC

ニコニコボックス

中村 茂

- 堀江 大** 柴山先生 大変な時に有難うございます。本日宜しくお願ひします。
- 石井 秀夫** 柴山先生 本日は有難うございます。どうぞ宜しくお願ひ致します。
- 鈴木 真澄** 柴山さんお忙しい中 卓話に来て頂いて有難うございます。本日宜しくお願ひ致します。
- 中村 茂** 柴山先生今日は有難うございます。先週左足骨内挿入物除去手術の為休みました。今年度、ニコニコ委員長ですので宜しくお願ひ致します。
- 室伏 秀樹** 柴山先生 卓話宜しくお願ひします。
- 本橋 正夫** 柴山代議士 本日は大変有難うございます。宜しくお願ひ致します。
- 内田 学** 柴山先生 お忙しい時期に有難うございます。2期生でなく良かったですね。安心してます。
- 大舘 信夫** 前回欠席。柴山先生所沢西ローターによるこそ。
- 中 毅志** 柴山代議士 卓話楽しみにしてます。密室ですので カラも入っていませんので宜しくお願ひします。
- 本橋源太郎** 柴山代議士今日は宜しくお願ひします。
- 恒良 裕子** 前回迎賓館に見学に行ったため例会を欠席させて頂きました。とても美しく日本人のおもてなしの心が感じられ勉強になりました。

**卓話 「安全保障・現在の国政における
様々な課題」**
衆議院議員 内閣総理大臣補佐官
柴山 昌彦様



衆議院議員 内閣総理大臣補佐官の柴山昌彦でございます。

本日は、私の担当である安全保障はもちろん、現在の国政における様々な課題等についてお話しをさせて頂ければと考えております。

先日行われた東京都議会議員選挙は、私ども自民党にとって非常に厳しい結果となりました。まずはその結果をしっかりと受け止め、反省をしていかねばならないと考えております。選挙直後、記者の方から、「原因は加計学園ですか?大臣や議員の言動ですか?」などと取材がありましたが、そのような個別事象に矮小化したら本質を見誤ります。そもそも、昨年の都知事選への対応や、当選した小池知事に対するスタンスに問題が無かったかを考え直す必要があります。

これまで総理の力強いリーダーシップと、経済や外交などで結果を出してきたことは功績だと思いますが、最近では政権・自民党に対して驕りを指摘する声を耳にすることが多くなりました。そういった意味で私を含め、国政レベルでも反省をすべきなのは言うまでもありません。

私はかつて党改革実行本部において、コーポレートガバナンスコードの策定に尽力をしました。民間企業では取締役会に外部人材を入れたり、接待などにもガイドラインを設けようとしたりするなど、経営の適正化を図るべく日夜努力をされています。そうした中で政治も誤解を招かない為の努力を惜しまず、正しい意思決定プロセスと国民への丁寧な説明が必要であると思います。



さて、現在私は法律に定められた安全保障担当の首相補佐官を拝命致しております。

言うまでもなく、日本を取り巻く安全保障環境は非常に厳しさを増しております。北朝鮮は昨年から今年にかけてミサイルを30発以上発射しています。私も総理が議長を務め、官房長官・外務大臣・防衛大臣がメンバーである国家安全保障会議(NSC)に出席を求められ、情報分析・対応協議を行っております。

今年3/6には北朝鮮の西岸から4発の弾道ミサイルが発射され、そのうち3発が日本の排他的経済水域(EEZ)内に落下したと推定されます。また、つい先日の7/4に同じく西岸から発射された1発は、2500kmを大きく超えた高度に達し、約40分間900km飛翔し、同じくEEZ内に落下したものと考えられます。米国や韓国など諸外国と連携して様々な対応オプションを用意して、日本への脅威を未然に防ぐ努力を重ねて参ります。

また、私は首相補佐官として南スーダンに2度訪問致しました。

1度目は昨年11月、国内で平和安全法制が施行されたことにより、いわゆる駆け付け警護が可能になったことを受けて、こうした新任務を帯びた国連平和維持活動(PKO)に参加中の自衛隊の派遣期間を延長する旨のキール大統領への伝達が主な任務でした。現地の安全が論点となり、確かに昨年7月には現地において大規模な衝突がありましたが、大統領と対立をしていた副大統領が国外に亡命をして、経験豊富な新しい副大統領が就任をしたことで治安が安定をしたことをこの目で確かめて参りました。

2度目は今年3月、延長をしていた派遣期間が満了になると共に、派遣から丸5年を迎えるにあたり、総理の親書を持って派遣の終了を伝達して参りました。南スーダン政府にも事前に内容は伝えていなかった為、マスコミにも極秘での訪問となりました。突然ではありましたが、2回目の訪問ということもあり、キール大統領からもご理解と自衛隊に対する感謝の言葉を頂くことが出来ました。

困難な課題が山積をしておりますが、より一層脇を締め全力で職務に邁進して参りますので、引き続きのご指導を宜しくお願い致します。



今週の担当 山田 富男